

政府・財界がオンライン請求の義務化を強引に進める理由は何か。表面には、医療費の効率化を掲げているが、実際は、自らが負担する医療費の削減である。

保険者は基金などに審査・支払いを委託し、委託費を払っている。コンピュータ処理を導入すると、委託費が大幅に削減される。また保険者や厚労省は、レセプトの中

検証：レセプトオンライン

協会政策部

身を分析するために様式を変えようとしている。

毎日の診療について、その日ごと、診療日・病名・症状・治療内容を記載したものレセプトとする。

例えば、現在、義歯調整は月に1回しか算定できないが「〇月〇日、病

レセ様式変え分析に活用

効率化ではなく医療費削減目的

々と入力しなければならぬ。このような詳細な診療情報を集める理由として、以下の3点があげられる。

別性や歯科医師の裁量権は、入り込む余地をなくしてしまふ。ただし、先ほど述べたように「包括点数」となっても、レセプト内容は日々詳しく記

病名が多く、どういった病名か、標準的な医療に何らかの傾向があるか、という、個々の医療機関情報を握る。

情報の収集は、医療機関だけでなく、患者情報にまで及ぶ。レセプトオンライン化による医療の「データ化」により、ある患者さんがどれだけ医療機関に通院し、どんな病名で、どういう症状で、いつ受診したか、治療費はいくらだったかという診療情報を全て同時に把握する。同時に、詳細な患者情報漏えいの危険性も高まる。医療に関する患者の詳細な情報と、年金や雇用・資格の有無等から、その人の「社会保障カード」をつくり、生涯にわたる社会保障個人会計で管理しようとしている。(つづ)

2月度生涯研修講座 ドライマウスとアンチエイジング 唾液腺マッサージの術式紹介



唾液腺マッサージの術式などドライマウスへの対応法を話す坂井氏(右)と、熱心に話を聞く参加者(左)＝1日、M&Dホール

協会の歯科臨床・学術学術部は1日、2月度生涯研修講座をM&Dホールで開き、歯科医師ら100人が参加し、「ドライマウスへの対応とアンチエイジング医学の実践について」をテーマに学

んだ。講師は、大阪大学大学院教授(顎口腔機能治療学)の坂井丘芳先生が務め、現在の概念とキーワードの解説、臨床術式の紹介を動画も用いながら分かりやすく講演した。

ドライマウスを訴えられる人は年々増加しており、その原因は服用薬物の副作用や筋力の低下、ストレスや生活習慣病に加えて、加齢などが複合しているものと考えられる。それらの原因への対応を具体的に解説された。ドライマウスに対するケアとして、良く噛む習慣をつけることや薬に頼らない生活などを提示し、実際に唾液腺マッサージの術式も紹介された。



藤村衆院議員(民主・左から3番目)に要請した保団連・協会の要請団＝1月29日、衆議院議員会館

協会・保団連が署名活動や集会などに取り組み、国会要請を重ねてきた社会保障費の毎年2200億円削減の撤回につ

社会保障費
2200億削減

世論高まり大幅譲歩

会員の声国会要請で届ける

いて、2009年度の削減額は実質230億円程度にとどまる見通しになった。署名や会員から寄せられた医療危機に対する切実な声も、社会保障充実への大きな世論を呼び起こし、政府方針から大幅な譲歩を引き出した。

社会保障費2200億円の削減は、小泉「構造改革」のもとで02年から強行され、7年間で削減された社会保障費は1兆6200億円にも及び、各地で医療崩壊などの大問題を引き起こした。

協会は、08年12回にわたって上京し、削減撤回を求めて国会要請や集会などに繰り返し取り組んできた。昨年11月から実施している院長署名は、全会員の5割に迫る1835筆の賛同を集め、それを国に提出し削減撤回を強く求めた。会員から寄せられた声も、政府に削減方針の継続を困難にさせる大きな原動力となった。

1月29日には、協会・保団連が今年度6回目となる国会要請を実施した。衆議院で09年度予算案の審議が始まる中、大阪選出の国会議員に対し、社会保障費抑制の撤回や後期高齢者医療制度の廃止、新保険法にのける自主共済の適用除外などを求めた。協会の下井戸昭介副理事長、小山榮三理事・相談役、古田光行、宮本辰雄両監事、事務局ら7人が参加した。

懇談した民主党の藤村修衆院議員は、「医療政策では、保団連の主張と我々の考えにあまり違いはない」と語り、国民医療の充実に取り組む姿勢を示した。

2011年から義務化されるレセプトオンライン請求の問題では、義務化撤回を協会・保団連が求めたのに対し、藤村議員は「猶予期間が必要」としたものの、「将来的には反対ではない。代行請求ができるようになれば良い」との立場を明らかにした。

藤村議員には、協会が集約した自主共済の適用除外を求める署名271筆を託した。

◆ ◆ ◆
(今回の要請先・敬称略)
【面談議員】
(民主・衆) 藤村修
【秘書対応】
(自民・衆) 井脇ノブ子
大塚高司・岡下信子・北川知克・竹本直一・谷畑孝・中馬弘毅・とかしきなおみ・中山太郎・中山泰秀・西野あきら・原田憲治・松浪健四郎・松浪健太・柳本卓治・矢野隆司・(参)北川イッセイ、谷川秀善、(公明・衆) 谷口隆義・池坊保子・北側一雄・佐藤茂樹・田端正広(参)白浜一良・山下栄一・山本香由、(民主・衆) 長安豊・平野博文、馬淵澄夫(参) 梅村聡・尾立源幸・高嶋良充・辻泰弘・藤原正司・松岡徹(共産・衆) 石井郁子・穀田恵二・吉井英勝、(参) 山下芳生、(社民・衆) 辻元清美

ング④口腔粘膜細胞を用いた、生活習慣病の遺伝子診断⑤唾液分泌の促進

⑥医科と歯科の連携による、抗加齢医学の実践――などがあげられるとま

とめた。当日開場を満席に埋めた先生方は、明日からす

ぐに役立つ内容を熱心に聴き入った。
(東大阪市・西川眞二)

求人

ハーモニックにおまかせ下さい

歯科医師

衛生士

助手

技工士

優秀な人材をご紹介します

常勤、アルバイト、パートに関わらず人材採用のお手伝いをさせていただきます。弊社にて事前に面接済の求職者の中からご希望の条件と合う方を探し、ご紹介致します。

ホームページ <http://harmonic-net.co.jp>

※求人内容によりましてはご紹介が難しい場合がございますので予めご了承ください。

24時間受付

お気軽にお電話下さい

株式会社 ハーモニック
(和田精密グループ)

フリーコール イーしごと
TEL 0800-1114510
FAX 06-6393-3232
e-mail: info@harmonic-net.co.jp

担当: 下田
532-0002 大阪府淀川区東三国1丁目12-15 辻本ビル7F
有料職業紹介業 27-ユ-300406
一般労働者派遣業 般27-060054